

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	75 (5) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎201
担 当 教 員	井上 海平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人体の生命維持に関する知識を習得する						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験評価:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学改訂第3版. 株式会社南江堂						
《授業外における学習方法》						
解剖学的構造の理解と併せて生理学の対象項の確認をすること。図書室での参考図書の閲覧が必要になる場合もある。						
《履修に当たっての留意点》						
講義前及び講義後に教科書を読んでおくこと						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	内分泌の機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	内分泌腺、ホルモンの一般的性質、種類と作用 視床下部ホルモ、下垂体のホルモン 小テスト⑮				
第2回	授業を通じての到達目標	内分泌の機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	内分泌腺、ホルモンの一般的性質、種類と作用 視床下部ホルモ、下垂体のホルモン 小テスト⑮				
第3回	授業を通じての到達目標	内分泌の機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	甲状腺、副腎皮質・髄質のホルモン 小テスト⑯				
第4回	授業を通じての到達目標	内分泌の機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	甲状腺、副腎皮質・髄質のホルモン 小テスト⑯				
第5回	授業を通じての到達目標	内分泌の機能、生殖について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	膵臓、精巣、卵巣のホルモン 性染色体、性分化 小テスト⑰				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌の機能、生殖について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	膵臓、精巣、卵巣のホルモン 性染色体、性分化 小テスト⑰		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	男性生殖系の構成、精子形成、勃起射精 女性生殖系の構成、卵巣・月経周期、 ゴナドトロピンと卵巣ホルモンの分泌、妊娠と分娩、乳汁分泌 小テスト⑱		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	男性生殖系の構成、精子形成、勃起射精 女性生殖系の構成、卵巣・月経周期、 ゴナドトロピンと卵巣ホルモンの分泌、妊娠と分娩、乳汁分泌 小テスト⑱		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	骨の構造、形成と成長、骨の再吸収再形成、 カルシウム代謝とリン代謝、ビタミンD、上皮小体ホルモン、カルシトニン 骨の病気(骨粗鬆症)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	骨の構造、形成と成長、骨の再吸収再形成、 カルシウム代謝とリン代謝、ビタミンD、上皮小体ホルモン、カルシトニン 骨の病気(骨粗鬆症)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	体液の区分とバランス、体液のイオン組成 体液の恒常性を維持するしくみ:体液浸透圧と体液量の調節、 体液 Na量と体液量、体液酸塩基平衡の調節		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	体液の区分とバランス、体液のイオン組成 体液の恒常性を維持するしくみ:体液浸透圧と体液量の調節、 体液 Na量と体液量、体液酸塩基平衡の調節		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の基本的機能について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	神経細胞の形態、静止膜電位、活動電位、閾刺激、全か無かの法則 小テスト⑳		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の基本的機能について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	神経細胞の形態、静止膜電位、活動電位、閾刺激、全か無かの法則 小テスト㉑		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の基本的機能について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	不応期、イオンチャネル、興奮の伝導・伝達 小テスト㉒		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	75 (5) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎201
担 当 教 員	井上 海平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人体の生命維持に関する知識を習得する						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験評価:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学改訂第3版. 株式会社南江堂						
《授業外における学習方法》						
解剖学的構造の理解と併せて生理学の対象項の確認をすること。図書室での参考図書の閲覧が必要になる場合もある。						
《履修に当たっての留意点》						
講義前及び講義後に教科書を読んでおくこと						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	神経の基本的機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	不応期、イオンチャネル、興奮の伝導・伝達 小テスト②				
第17回	授業を通じての到達目標	神経系の機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	神経系の成り立ち:反射と反射弓、体性・自律神経、末梢・中枢神経 内臓機能の調節:交感神経と副交感神経、化学伝達物質 内臓機能の視床下部による調節:摂食行動・情動行動の調節				
第18回	授業を通じての到達目標	神経系の機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	神経系の成り立ち:反射と反射弓、体性・自律神経、末梢・中枢神経 内臓機能の調節:交感神経と副交感神経、化学伝達物質 内臓機能の視床下部による調節:摂食行動・情動行動の調節				
第19回	授業を通じての到達目標	神経系の機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	姿勢と運動調節: 運動の調節のしくみ、骨格筋の感覚器、体性反射と中枢、 脊髄反射、脳幹反射 小テスト④				
第20回	授業を通じての到達目標	神経系の機能について学び、理解する		生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	姿勢と運動調節: 運動の調節のしくみ、骨格筋の感覚器、体性反射と中枢、 脊髄反射、脳幹反射 小テスト④				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の機能について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	姿勢と運動調節:小脳と大脳基底核の機能、新皮質運動野の機能 高次機能:大脳皮質の機能分化、脳波、覚醒と睡眠、新皮質連合野		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の機能について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	姿勢と運動調節:小脳と大脳基底核の機能、新皮質運動野の機能 高次機能:大脳皮質の機能分化、脳波、覚醒と睡眠、新皮質連合野		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋肉の機能について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	筋肉の種類(骨格筋、平滑筋、心筋)、骨格筋構造、筋収縮のしくみ、筋細胞膜を興奮させるしくみ、骨格筋の収縮の仕方・エネルギー、筋肉の長さや張力の関係、筋の熱		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋肉の機能について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	筋肉の種類(骨格筋、平滑筋、心筋)、骨格筋構造、筋収縮のしくみ、筋細胞膜を興奮させるしくみ、骨格筋の収縮の仕方・エネルギー、筋肉の長さや張力の関係、筋の熱		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	感覚の種類・一般的性質 体性感覚(皮膚感覚、深部感覚)、内臓感覚(内臓痛覚、関連痛) 嗅覚と味覚		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	感覚の種類・一般的性質 体性感覚(皮膚感覚、深部感覚)、内臓感覚(内臓痛覚、関連痛) 嗅覚と味覚		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	聴覚:耳の構造、音、聴覚の伝導路と聴覚野 視覚:眼の構造、結像の機序、光受容機序、視覚の伝導路と視覚野 視覚におけるその他の機能(視野、視力)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	聴覚:耳の構造、音、聴覚の伝導路と聴覚野 視覚:眼の構造、結像の機序、光受容機序、視覚の伝導路と視覚野 視覚におけるその他の機能(視野、視力)		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚の生理学について学び、理解する	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	後期講義の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	前庭感覚:平衡感覚系、前庭器官の構造、伝導路		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期履修内容の国家試験同等問題が解けるようになる。	生理学改訂第3版 配布資料 PC、プロジェクター	後期全講義の学生の理解度を確認する
		各コマにおける授業予定	後期まとめ		